

日高支部だより

2018.vol 1

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成30年 3月30日

発行元：(一社)北海道建築士会日高支部

〒056-0017
日高郡新ひだか町静内御幸町
1-1-42 静内産業土建棟内
TEL 0146-42-1395
FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：森 勝利

平成30年度(第65回)日高支部通常総会開催

～事業計画(案)ならびに予算(案)を確認～



日高管内の会員約40名が出席



総会議案



支部表彰(副支部長が代理)

平成30・31年度 役員体制

支部長	山下 聡	(新ひだか町)
副支部長	村田 貞光	(新冠町)
"	菊地 峰生	(えりも町)
事務局長	高橋 幸二	(新ひだか町)
理事	門野 智	(日高町)
"	津川 司	(平取町)
"	古川 昌広	(新冠町)
"	袴 英臣	(")
"	小松 和彦	(新ひだか町)
"	森 勝利	(")
"	森 田正広	(")
"	嶋 克昭	(")
"	高田 良一	(浦河町)
"	大谷 晃平	(")
"	小田 真	(")
"	田村 勝弘	(")
"	八谷 龍二	(様似町)
"	田頭 教行	(")
"	岡崎 忠智	(えりも町)
監事	谷 茂樹	(新ひだか町)
"	齋 智光	(新冠町)
顧問	土井 宗太郎	(浦河町)
相談役	木原 宗孝	(新ひだか町)
"	池田 尚登	(様似町)
青年委員長	亀田 誠	(新ひだか町)
副委員長	津山 浩	(")
"	久保 美津之	(えりも町)
幹事	前田 智洋	(日高町)
"	谷山 勝広	(平取町)
"	栗山 匠太	(新冠町)
"	草野 潤	(")
"	村田 直樹	(新ひだか町)
"	隅谷 耕太朗	(")
"	大野 啓輔	(浦河町)
"	松田 剛之	(")
"	酒井 高史	(")
"	渡邊 忍	(様似町)
"	岩間 孝太	(えりも町)
"	川崎 優慶	(")

3月に開催予定の(一社)北海道建築士会通常総会に先立ち、2月3日(土)、浦河町の浦河ウエリントンホテルにて、日高支部の通常総会が開催されました。

土井支部長のあいさつの後、①会員の動静、②平成29年度事業報告、③平成29年度収支決算報告、④監査報告の4件の報告事項、続いて、①平成30年度事業計画(案)、②平成30年度収支予算(案)の2件の議案が提案され、すべて承認されました。なお、今年度の親睦事業の開催地は、新冠町の予定となっておりますので、みなさまのご参加、よろしくお願いたします。

本総会では、役員改選が行われ平成30年度、31年度における体制が決定されました。新支部長を筆頭に新しい体制となった支部をみなさまで盛り上げていきましょう。

総会終了後は、恒例の懇親会が執り行われました。木原副支部長の乾杯の後、懇談をはさみ、豪華景品が並ぶもなかなかビンゴの出ないBINGO大会、さらには、新潟県魚沼産コシヒカリ争奪、土井支部長とのジャンケン大会と、例年同様、楽しいひと時となりました。池田副支部長の締めによりつつがなく総会を終えることができました。

日高支部だより

2018. vol. 2



Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成30年 4月 2日

発行元：(一社)北海道建築士会日高支部

〒056-0017
日高郡新ひだか町静内御幸町
1-1-42 静内産業土建棟内
TEL 0146-42-1395
FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：森 勝利

全道青年委員会連絡会議 開催

～『建築士の”より良い”を目指す』～



高野会長＝来賓あいさつ



研修会の様子 新技術セミナー



朝倉委員長＝主催者あいさつ



朝倉委員長＝懇親会開会あいさつ



懇親会の様子 建築絵心クイズ大会

3月31日(土)、札幌市かでの2・7 701会議室で、平成30年全道青年委員会連絡会議が開催され、全道各地から71名の各支部青年委員会役員等が参集し、当支部からも亀田青年委員長、隅谷幹事、酒井幹事、渡邊幹事が出席しました。

この会議は、各支部青年委員長をはじめとする全道の青年委員参集のもと、一年間の青年委員会の事業方針、事業計画及び予算について報告するとともに、建築士の育成を目的とした研修会等を行い、青年層の資質の向上を図る場として開催しています。

本年も、会議の後、研修会を開催。第一部では会員が行政機関や現場管理など幅広い職種が共通して興味のあるセミナーとして新技術のセミナーを開催し、第二部では前年の全国大会京都大会で開催された地域実践活動発表会のVTR鑑賞会が行われました。個人ではなかなか得られない団体ならではの研修会で多くの青年会員は貴重な情報を共有することができました。

懇親会では、恒例となった建築に関するクイズをさらに「絵心」で表現する大会として開催。難問に頭を抱えながら、笑いを誘う芸術作品からボケてスベる作品まで楽しくも悩ましい戦いが繰り広げられました。

日高支部だより

2018. vol. 3

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成30年 4月22日

発行元：(一社)北海道建築士会日高支部

〒056-0017
日高郡新ひだか町静内御幸町
1-1-42 静内産業土建棟内
TEL 0146-42-1395
FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：森 勝利

第1回道南ブロック協議会 開催

～函館市西部地区まち歩き（古民家再生）～



富樫雅行建築設計事務所兼自宅



再生物件＝現在食事会などに利用



蔵の再生現場＝富樫代表（写真中央）による現場説明



再生物件



函館市電にて移動

4月21日（土）、函館市にて今年度最初となる道南ブロック協議会が開催され、当支部から亀田青年委員長、津山副委員長、久保副委員長の3名が出席しました。

協議会に先立ち、スキルアップ研修として函館市西部地区のまち歩きを行った後、原田組所有の古民家にて協議会を行い、一年間の道南ブロックの事業方針、事業計画及び予算について確認するとともに、各支部の活動状況等について報告が行われました。

今、函館市は高齢化による西部地区の空き家問題があり、築50年を超える歴史ある空き家が空き地や駐車場に変わってきている状況です。その問題を何とかしようと活動している合同会社箱バル不動産という会社の副代表を務める富樫雅行建築設計事務所の富樫代表を講師に、現在手掛ける蔵などの再生現場や再生を終えた富樫雅行建築設計事務所兼自宅を見学するなど西部地区のまち歩きを行いました。古民家再生にあたり市立図書館に保存されている写真等資料を手掛かりに、古民家解体時に発生する材料を再利用し、当時の街並みを再現するなど歴史的建造物への意識の高さが窺えました。

終了後には、懇親会も開催し、さらに親睦を深めました。

日高支部だより

2018.v14

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成30年 5月20日

発行元：(一社)北海道建築士会日高支部

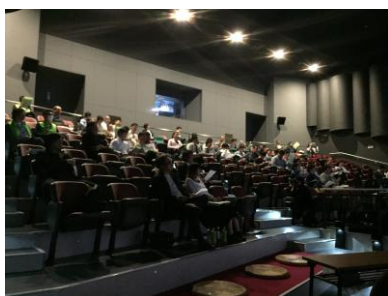
〒056-0017
日高郡新ひだか町静内御幸町
1-1-42 静内産業士建樹内
TEL 0146-42-1395
FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：森 勝利

青年建築士の集い (斜里大会) 開催

～とびだせ全国へ！地域実践活動発表選抜選手権～



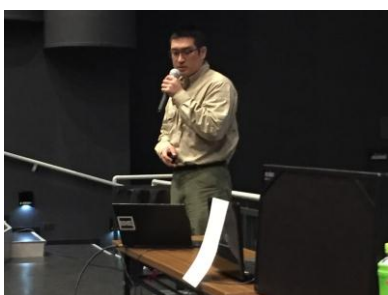
会場の様子



高野会長より推薦状授与＝室蘭支部



青年建築士の集い受付の様子



秋葉圭太氏＝講演

5月19日(土)、斜里町知床自然センターで、青年建築士の集いが開催され、全道各地から70名が参加するなか、当支部からは亀田青年委員長が出席しました。

二部構成の第一部では、昨年に引き続き全国大会発表支部の選抜大会が開催され、事前に選出された道央ブロック小樽支部、道南ブロック室蘭支部、道北ブロック宗谷支部、道東ブロック中標津支部がプレゼンを行いました。投票の結果、道南ブロック室蘭支部の『親子ふれ愛木工教室』が全国大会への切符を手に入れました。



懇親会の様子

後半の第二部では、公益財団法人知床財団公園事業係長の秋葉圭太氏の『世界自然遺産 知床の現在形－知り・守り・伝える現場の取り組みから－』と題した講演を拝聴しました。知床の価値を守るため、自然保護区の保全と観光地としての利用を両立する活動が知床財団では行われています。ビジターセンターや遊歩道の整備による国立公園の観光利用、有料エリアを設け入場者の制限することによる保全が実践されているとのことでした。「登録は終わりではなく、始まり」という言葉が強く印象に残っています。

その夜に行われた懇親会も大いに盛り上がりました。

日高支部だより

2018.10.15

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成30年 7月29日

発行元：（一社）北海道建築士会日高支部

〒056-0017
日高郡新ひだか町静内御幸町
1-1-42 静内産業土建棟内
TEL 0146-42-1395
FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：森 勝利

第2回道南ブロック協議会 開催

～平取町二風谷ダム見学ツアー～



施設見学＝開発局職員による説明



コンクリート製の魚道



二風谷ダム見学＝ゲート部



協議会の様子



懇親会の様子

7月28日（土）、平取町にて今年度第2回目の道南ブロック協議会が開催され、当支部から亀田青年委員長、渡邊委員、酒井委員、草野委員、隅谷委員の5名が出席しました。

協議会に先立ち、スキルアップ研修として平取町にある二風谷ダムを見学後、新ひだか町地域交流センターピュアプラザにて協議会を行い、全国大会（さいたま大会）、全道大会（土別大会）について確認するとともに、各支部の活動状況等について報告が行われました。

当日は『二風谷ダム ダムフェスタ』が行われており、一般参加者にまじりダムのディープな世界を堪能してきました。二風谷ダムは国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部が管理する特定多目的ダムで、北海道で最も堤頂の長いダムです。平成15年8月の洪水時には流木約5万m³を補足し、さらに沙流川下流の水位を数十cm抑えることで住宅地等への浸水被害を防いでいます。

沙流川は魚の遡上する自然の豊かな河川のため、二風谷ダムには自然保護の観点からコンクリート製の魚道が整備されています。土木工事におけるコンクリート構造物の巨大さに圧倒された見学ツアーとなりました。

終了後には、新ひだか町のスパイタイガーにて懇親会を開催し、さらに親睦を深めました。

日高支部だより

2018.10.16

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成30年 8月19日

発行元：(一社)北海道建築士会日高支部

〒056-0017
日高郡新ひだか町静内御幸町
1-1-42 静内産業土建棟内
TEL 0146-42-1395
FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：森 勝利

ミニ建築士のお仕事体験開催

～13名の子どもたちが参加～



イベント開催の様子



間取りに悪戦苦闘



駄菓子を片手に集合写真



子ども建築士免許証明書=後日交付



作品制作中=村田副支部長

8月18日(土)、新ひだか町立こうせい児童館において、『ミニ建築のお仕事体験in新ひだか』を開催しました。この事業は昨年まで行われていた『ちびっ子建築士の絵画コンクール』に続く小学生を対象にしたイベントです。本イベントでは建築士の仕事や建築士会活動をPRするとともに、将来を担う子どもたちに、「建築士」に夢や憧れを抱いていただけるよう、楽しく「建築」にふれあうことのできるイベントを目指します。

内容は「パズルでおうちをかんがえよう」と題し、地元建築士サポートのもと敷地が描かれた用紙に部屋や家具などを選びシールを切り貼りし、あるおばあちゃんが望む間取りを考えてもらうものでした。

当日は参加者13名、スタッフ9名。

反省点は、ゼロから間取りを考えることが難しく、特に小学校低学年の子どもたちには負担が大きかったように思います。良かった点は子どもたちと近い距離で触れ合うことができ、会員として『見える』活動ができたことです。

今回の反省点を生かし来年度はより充実度の高いイベントを目指していきます。ご協力いただいた皆様へ心より御礼申し上げます。

日高支部だより

2018.10.17

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成30年 9月23日

発行元：（一社）北海道建築士会日高支部

〒056-0017
日高郡新ひだか町静内御幸町
1-1-42 静内産業土建棟内
TEL 0146-42-1395
FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：森 勝利

胆振東部地震厚真町ボランティア協力

～ボランティア活動隊の結成～



朝礼の様子



臨時集積場の状況



道路の被災状況



テレビ放映



ボランティア活動隊集合写真

9月17日（月）、山下支部長を総指揮官に、村田副支部長を隊長に、佐々木理事、池理事、森理事、亀田青年委員長、草野委員の隊員、計7名にてボランティア活動隊を結成し、北海道胆振東部地震の被災地厚真町にてボランティア活動に参加しました。

9月6日北海道胆振地方中東部を震源とした地震では、最大震度7が北海道で初めて観測され、死者41名、負傷者681名、住家の全壊186棟、半壊539棟、一部損壊5034棟という甚大な被害をもたらしました。活動先である厚真町では大規模なけがれ崩れや道路の損壊などが相次ぎ、復旧作業が懸命に続けられていました。

当日集まったボランティアは138名。具体的に行われた作業は住宅内の整理や家財道具の搬出、集積場への搬入が主で、臨時に設けられた集積場は集められた家財道具等で埋め尽くされている状況でした。あらためて被害の大きさを実感する光景でした。実際に被災した住宅では、応急危険度判定で「危険」との判断はされたものもありました。震災後の対応に追われ、住宅内部の整理に手を付けられない方へ微力ながら協力できたのではないかと思います。

今回の震災で亡くなられた方々へ、心よりご冥福を申し上げます。

日高支部だより

2018.10.18

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成30年10月 7日

発行元：（一社）北海道建築士会日高支部

〒056-0017
日高郡新ひだか町静内御幸町
1-1-42 静内産業土建棟内
TEL 0146-42-1395
FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：森 勝利

「未来へつなぐ天塩の流れ人と大地の躍動」

～第43回（一社）北海道建築士会全道大会（土別大会）に参加～



C分科会＝青年委員会担当



基調講演＝田中義和氏



実行委員長あいさつ＝土岐士別支部長



懇親会＝次期開催地PR（網走支部）



前日に行われた青年サミットの様子

10月6日、第43回（一社）北海道建築士会全道大会（土別大会）が開催され、当支部から、山下支部長、高橋事務局長、三嶋理事、森理事、同青年委員会から、亀田委員長、隅谷委員が出席しました。

式典では、大会実行委員長の土岐 士別支部長が道内32支部からの参加者ならびに多くのご来賓に謝意を述べた上で「平成最後となる記念すべき大会をここで開催できたことに喜びを感じるとともにその責任も痛感しながら少数精鋭で準備を進めてきた。豊かな地域社会、故郷の歴史や文化をしっかりと未来へ繋ぎ、先人の知恵や思いを継承し、北の建築士として、その先頭に立って行こうではありませんか。」と高らかにあいさつした後、大会長である高野会長は、「地域の起爆剤として大会開催を決意された士別支部のみなさんとの交流により、士会の魅力に改めて触れ、気づく機会になり明日からの各支部の活動につながることを期待しております。」とあいさつしました。その後、23支部187名への会長表彰、分科会報告を受け、式典は滞りなく閉会しました。続いて、トヨタ車「MIRAI」の設計・開発の責任者として現場の指揮、プリウスPHVの開発責任者を務めた製品企画本部チーフエンジニア田中 義和（たなか よしかず）氏による『トヨタの環境技術戦略並びに水素社会の実現に向けて』と題した基調講演を拝聴しました。

来年は、2019年10月6日（土）、全国大会が函館市で開催されます。我ら「道南」の仲間として、みなさんと盛り上げていきましょう。

日高支部だより

2018.10.19

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成30年11月 9日

発行元：（社）北海道建築士会日高支部

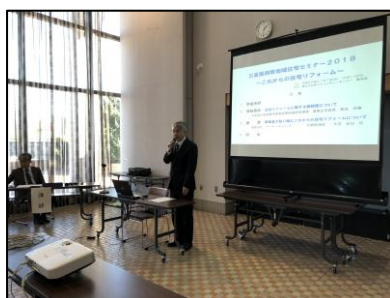
〒056-0017
日高郡新ひだか町静内御幸町
1-1-42 静内産業土建棟内
TEL 0146-42-1395
FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：森 勝利

地域住宅セミナー2018 開催

～これからの住宅リフォームについての理解を深める～



開会あいさつ=久慈 課長



情報提供=菊地 係長



会場の様子



講演=大石 代表取締役

11月7日、新ひだか町コミュニティセンターにて、北海道日高振興局主催（当支部後援）の地域住宅セミナー2018が開催され、会員を含む約20名が参加しました。

久慈 北海道日高振興局産業振興部建設指導課長の開会あいさつに引き続き、菊地 同課建築住宅係長より『住宅リフォームに関する諸制度について』の情報提供、そして、『事業者が取り組むこれからの住宅リフォームについて』というテーマで、有限会社アーキ・キューブ 代表取締役 大石 佳知 氏による講演を拝聴しました。

岐阜県に事務所を構える大石氏が取り組む地場産材を活用した事例の紹介をはじめに、国土交通省中古住宅インスペクション、中古住宅・リフォームトータルプラン検討会委員としての活動から取り組む、インスペクション業務の実施に基づく適切なリフォームの提案や税制優遇のアドバイス、長期的な維持管理計画の提案まで高いリピートにつなげるため事業者が行うべき手法を紹介いただきました。とくに建築主への説明に平面図等専門的な情報ではなく、BIM（Building Information Modeling）を活用した3Dによる改修モデルは視覚的にわかりやすいものでした。

最後に、インスペクション業務を生かした先進事例の紹介いただき、高いリピートにつなげる提案をできることが今求められていることを学ぶことができました。

日高支部だより

2018.10.110



Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成30年12月7日

発行元：（社）北海道建築士会日高支部

〒056-0017

日高郡新ひだか町静内御幸町

1-1-42 静内産業土建棟内

TEL 0146-42-1395

FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：森 勝利

第3回道南ブロック協議会 開催

～苫小牧市沼ノ端交流センター見学会～



見学会＝多世代交流ホール



見学会＝児童センター



協議会の様子



懇親会＝「お疲れサマー」会



集合写真＝苫小牧市沼ノ端交流センター前

11月24日（土）、苫小牧市にて今年度第3回目の道南ブロック協議会が開催され、当支部から亀田青年委員長、久保副委員長、渡邊委員、隅谷委員の4名が出席しました。

協議会に先立ち、スキルアップ研修として苫小牧市沼ノ端地区にある苫小牧市沼ノ端交流センターを見学後、同センター会議室にて協議会を行い、来年度の予定等について確認するとともに、全国大会（さいたま大会）の参加、各支部の活動状況等について報告が行われました。

当センターは沼ノ端コミュニティセンターにあった市の出張所を移転させる形で併設し、民間の立案・計画を行った集会場機能と児童センター機能を設けた沼ノ端地区の公共複合施設です。当日は土曜日ということもあり、お昼でも多くの子どもたちでにぎわっていました。当センターの運営を行う指定管理者と発注・監理を行う市との間に運営に関する協議を行う場がないため、多々不都合な点があるとのことでした。

終了後には、苫小牧市錦町にある天ぶらDining天舟にて懇親会を、今年いっぱい退任させれる苫小牧支部永井青年委員長を労う「お疲れサマー」会を併せて開催しさらに親睦を深めました。